



いちご主要品種における萎黄病耐病性の品種間差異

【1 成果概要】

- 本県で主要ないちご品種の萎黄病耐病性を比較しました。その結果、四季成り性品種では耐病性が強い順に「エッチェス-138」>「なつあかり」>「デコルージュ」であることを明らかにしました（図1左）。
- 一季成り性品種については、耐病性が強い順に「紅ほっぺ」>「さちのか」>「とちおとめ」であることを明らかにしました（図1右）。

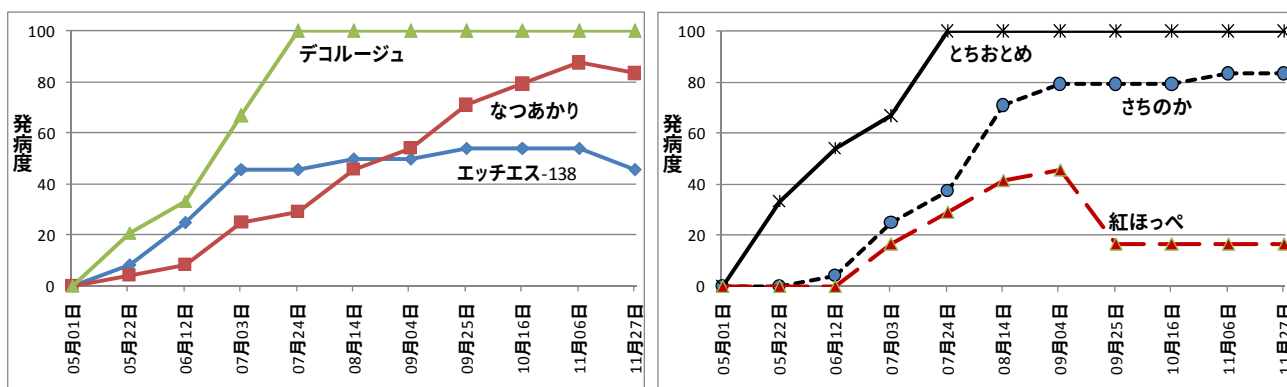


図1 県内主要いちご品種の萎黄病耐病性(2009)
(左：四季成り性品種、右：一季成り性品種)

摘要)今回比較した四季成り性品種の中では、「エッチェス-138」の耐病性が比較的強いと考えられます。
一季成り性品種では、「紅ほっぺ」の耐病性が比較的強いと考えられます。

【2 効果】

- いちご品種を選定する際に参考となります。

【3 留意事項】

- (1)四季成り性品種の「エッチェス-138」、一季成り性品種の「紅ほっぺ」は萎黄病耐病性が比較的強いと考えられますが、菌密度が高い場合には発病する可能性があるため、発病圃場では必ず土壌消毒を実施してから定植してください。
- (2)萎黄病の耐病性に関わらず、健苗育成に努めて無病苗を定植してください。

【4 適応対象】

- 1 地帯 県内全域
- 2 対象者 普及センター等の営農指導者